

週報

福岡中央
ロータリークラブ

四つのテスト

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか



「UNITE FOR GOOD」
2025-2026年度 国際ロータリー会長
Francesco Arezzo

よいことの
ために
手を取りあおう



「少しの成長から始まります
ー1.01で成長、0.99で衰退ー」
国際ロータリー第2700地区
2025-2026年度 ガバナー 濱野 良彦

「「PLUS」～少しの成長、そして確実な成長～」
2025-2026年度 福岡中央ロータリークラブ
会長 竹下 盛人 幹事 田中 明子

本日の例会 令和7年11月17日（第2130回）VOL.49 No.15

卓 話

「企業におけるハラスメント対策」
福岡中央ロータリークラブ 清成留美会員

ロータリー財団月間

今後の
例会予定

- ・11月24日(月) 休会
- ・12月 1日(月) 卓話 福岡中央ロータリークラブ 平田 憲会員
- ・12月 8日(月) 忘年家族懇親会（18:00～ 西鉄グランドホテル）

「青ヶ島」



青ヶ島に
来るこ
とがで
きる人
は、青
ヶ島の
神様に
選ばれ
た人。こ
の言葉
を聞いて
どう思
います
か？
なん
か偉そ
うな物
言いか
と思っ
てもし
れませ
んが、
その
歴史を
知ると
世界的
にも有
名な絶
景を見
ない事
がわか
りまし
う。世
界的に
素敵な
島です。
肌で感
じて欲
しい島
です。
怡土順
治

前週例会の記録(11月10日)

出席報告

前回例会 11月10日		前々回例会 10月27日	
会 員 数	53名	会 員 数	53名
出席会員	40名	出席会員	43名
ビジター他	1名	修 正	1名
合 計	41名	免 除	1名
出 席 率	75.47%	修正後出席率	84.62%

-来訪者内訳-

福岡RC1名 計 1名

ロータリーソング

青木 計世 ソング委員

・君が代 ・奉仕の理想

会長の時間

竹下 盛人会長

[ロータリー奉仕デー]

秋晴れの11月1日(土)、舞鶴公園を会場に、「樹を育て、人を育てよう!」をテーマに、舞鶴公園の桜47本、藤27本に肥料を与えるイベントが行われました。

このイベントは、2700地区第5グループ福岡北ロータリークラブ主催で「ロータリー奉仕デー」として行われると共に、「日本ボーイスカウト福岡県連盟100周年記念事業」として執り行われました。その為、福岡北・福岡イブニング・博多RCを中心とした多くのロータリアンと、幼稚園児～高校生までのボーイスカウト総勢約180名の参加が得られ、お蔭様で賑やかな1日となりました。

[記念植樹] 午前中は「福岡市美術館の森」で、「ボーイスカウト福岡県連盟創立100周年記念植樹」が行なわれ、大村ロータリークラブより寄贈頂いた「大村桜」を、森ガバナー補佐、北RC相良会長、ボーイスカウト井手理事長と私の4人で植樹させて頂きました。

[開会式] 午後からのロータリー奉仕デー「樹を育て、人を育てよう!」の開会式です。福岡県樹木医会会長でもあられる、森ガバナー補佐の挨拶に始まり、ボーイスカウト福岡県連盟理事長、福岡市緑のまちづくり協会理事の挨拶の後、北RC幹事より、ロータリーの主たる活動である「世界ポリオデー」の説明が行われました。

当日はKBC(九州朝日放送)のクルーが、イベントの取材に来られ、当日の17時30分のニュースと、来年の「水と緑のキャンペーン」の中で紹介されるとのことです。そもそも、「樹に肥料をあげる」と云う少し難しいイメージを持つイベントですが、樹木医会、北RCの皆様の念入りな事前準備と分かり易い説明のお蔭で、大人も子供も、楽しみながら作業する事ができました。

[ここからは作業風景の様子です] 参加者を5班に分け、事前に施肥作業の学習を終えた北RCの方々が指導に当たって頂きました。1本の老木の周りに8コの肥料ポイントが設けられています。約20cmの深さの穴を掘り、4個の固形肥料を入れて土を被せます。とは云え、桜47本藤27本、計74本/参加者180名ですから、2本/人は大変です。が、実は、8個の肥料ポイントは事前に1度掘ってあるので、子供でも掘れるように準備されていました(笑)。

[イベントの意義と期待です] 世代を超えた協力のもと、自然と人との触れ合いを通して子供達へ奉仕の心を育む機会となった事は素晴らしい企画だったと思います。又、舞鶴公園の緑化保全、環境保全に貢献し、来春には美しい桜と藤の花が咲く事を期待します。以上、会長の時間でした。

[11月 ロータリー財団月間にちなんで]

毎日がポリオデー

寄稿者 松田英郎さん(富良野RC)

ポリオ根絶活動が始まってから約40年が経過した今、根絶までのカウントダウンにおいて、なかなか終わりが見えないという課題があります。また、ポリオサバイバーの方が身近にいないければ、「ポリオは過去の病気」と捉える人も大勢います。ロータリアンでも、「今さらポリオ?」と思われる方がいます。世界から根絶されつつあり、日本ではもう感染が起きていないポリオとの闘いにおいて、どのように皆さんにご支援いただけるか。2024年7月にEPNC(ポリオ根絶コーディネーター)に就任以来、私は自分自身にこう問い続けてきました。(続きは「My Rotaryのロータリーボイス」よりご覧いただけます。)

世界を見れば、「野生型ポリオウイルスによる症例数」は、パキスタンで昨年74名、アフガニスタンで25名、今年も10月末で夫々、29名、9名で、決して根絶していません。内戦や、治安悪化で一番被害を被るのは、弱者や子供です。今日はこの現状を考える日にしましょう。